

燧灘貧酸素情報（第 3 号）

香川県水産試験場

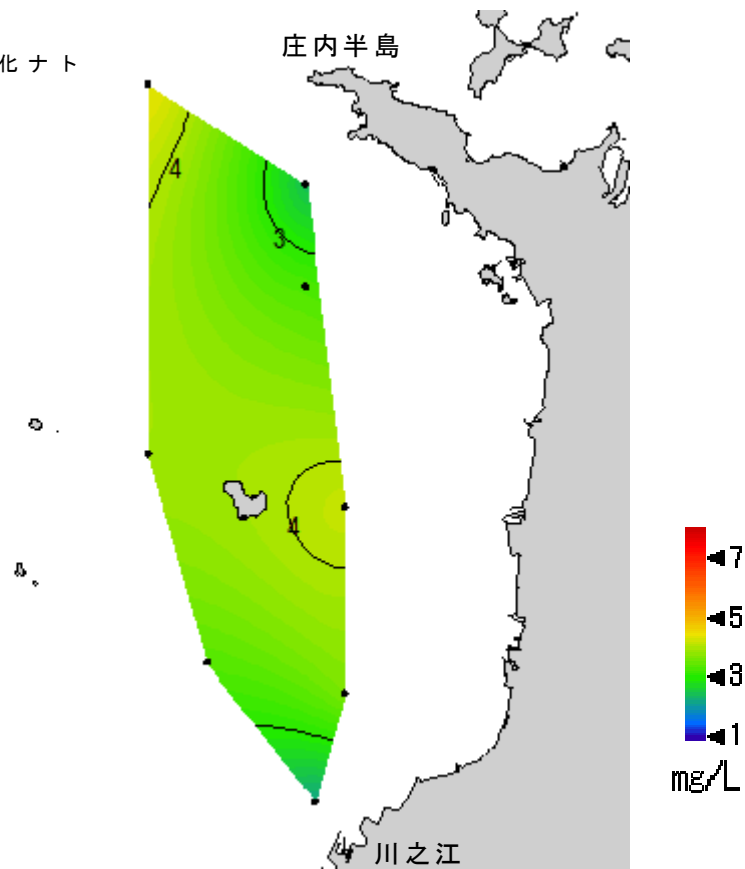
9 月 1 日観測結果

庄内半島南部と川之江沖で底層の溶存酸素濃度（DO）が低下しています。先日発生した赤潮のほか珪藻類が優先しており、底層で酸素消費が活発化しているものと思われます。今後、海面の冷却により鉛直混合が進むにつれ貧酸素水塊は解消に向かうものと思われますが、しばらくは注意が必要です。

調査名：浅海定線調査

測定方法：ウインクラーアジ化ナトリウム変法

リウム変法



底層の溶存酸素濃度分布

溶存酸素濃度（DO）の目安*

溶存酸素濃度	生物への影響
4.3mg/L 以下	魚類・甲殻類・底生生物（ベントス）に影響
3.6mg/L 以下	貝類に影響，甲殻類の生存困難
2.9mg/L 以下	底生生物（ベントス）の生存困難
2.2mg/L 以下	底生魚類の生存困難

* 漁場環境容量策定事業報告書（水産資源保護協会 1989）を参考にしています。